

# 10 じゅうがう おひさまだよ

令和5年10月3日発行 文責 有好恵子

砂場のパーゴラの支柱4か所に植えたぶどうが見事に実り、25日に収穫を行いました。ぶどうが色づいてきたころから狙っていた人が大勢いて、首を長くして待っていました。職員の口には一粒も入らなかったのではわからないのですが、子どもたちは「おいしい！」と笑顔を見せていました。去年植えたばかりです。来年はもっとたくさんの実を成らすことでしょ。

**テーマは繋がっている** おひさまの森では年中から登山が始まります。手始めは嵐山の登山です。ここは昔、近文と言われ旭川のアイヌ文化の発祥の地です。嵐山のふもとにはチセ（住居）や食糧庫、トイレなど生活に欠かせない物の展示もあります。毎年子どもたちは興味津々で目を輝かせて見ます。公園センターにはアイヌの民族衣装や鮭の皮を使って作られた靴、さまざまな生活用品などが陳列されています。おひさまを卒業した子どもたちも皆、この場所から刺激を受けアイヌ文化に興味関心を抱いた発端の場所でもあります。

嵐山の原生性を感じる山道を登って頂上展望台に着くと、旭川市内はもとより、正面に大雪山連峰が一望できます。その山を見ながら「年長になったら旭岳に登るよ」とみんなで話します。（ご存じとは思いますが、旭岳は大雪山連邦の中に位置し、北海道で標高が一番高い山です）大雪山は、畏敬の念を込めて、アイヌ語ではカムイミントラ「神々の遊ぶ庭」と呼ばれます。その偉大さ、美しさを感じる風景は神々がいるにふさわしいとして表現されるのです。



こんなふうに、旭川はアイヌ文化と切っても切り離せない関係にあります。そして、旭川の絵本作家あべ弘土さんの絵本『クマと少年』『エソオオカミ物語』の読み聞かせなどを通して、おひさまの自然の活動や登山などもアイヌ文化とつながっていることを強く感じます。今年も生活発表会のテーマは『エソオオカミ物語』です。今年は3歳児も参加します。去年とは違った発想や個性が加わり、また新たな作品となるのではないかと思います。

16日の食育の日は、アイヌの方々の貴重な食料で、生活用品の材料でもあった「鮭」を和食の調理師さんが来園し、捌いて（さばいて）見せてくれます。料理も作ってくれます。

今年生活発表会の日程をお知らせします。  
※年間行事予定表を一部変更させていただきます。  
11月28日（火）総練習～年少クラスの参観  
11月29日（水）年中クラスの参観  
12月1日（金）年長クラス参観

【10月の予定】  
2日～やまぼうし個人懇談  
16日～食育の日  
24日～避難訓練・二計測

## 中秋の名月！それにまつわる、愉快な話



日本では、「月ではウサギがもちをついている」といわれます。この話は子どもたちも知っているようです。中秋の名月にちなんで、理事長がふざけて、「今日はうさぎ、月まで行って餅をつくのかな」と言うと、年長のMくん、ハッとしましたが、真面目な顔で「うさぎはいかないんじゃないかな…」。Iちゃん「そうだよ。うさぎはいかないよ」との返答。でも、どこかすっきりしない表情のふたり。

後日、4歳のFちゃんに、理事長「満月になったら、ウサギが月で餅つきのしてる？」 F「うん、してるよ（得意げに）」 理事長「うさぎも昨日は月に餅つきに行ってきたのかな」 F「えっ！」と言って目がまん丸になり、言葉を失いました…。月のウサギとうさぎを関連付けた会話から、子どもたちの性格や表情が手に取るようにわかり、可愛らしくて笑えました。

さて、月の模様を何に見立てるか、その国によって違いがあるようです。日本のウサギの話はインドのジャータカの仏教説話に由来しますが、インドでは模様をワニに見立てます。モンゴルでは犬、インドネシアでは編み物をする女性、ライオンやロバに見立てる国もあるようです。

10月から新しい職員が入ります。○○○がフリーとして、いろいろなクラスに入ります。どうぞよろしくお願いたします！！

いちよう・もみじ・やまぼうし組の参観が終わりました。お忙しい中、ご出席ありがとうございました。クラスでの懇談・お子さんと一緒にの工作や堤防散歩など、楽しんでいただけましたでしょうか。子どもたちはとても喜んでいました！

## 父母の会役員会からお知らせします！

9月30日に予定していたパパ会ですが、職員の中にコロナウイルス感染症の罹患者が複数名出て、その他体調不良の人もいるようなので中止としました。役員会で諮った結果、今年は別日を設けるのではなく中止とさせていただくことと致しました。ご了承ください。

今後の日程 11月11日（土）午後～父母会主催ママ会

\*職員のコロナウイルス感染では、皆さまにご心配をおかけして申し訳ありませんでした\*